

日本環境会議（JEC）30周年記念事業

および記念募金へのご協力をお願い（継続）

日本環境会議(Japan Environmental Council. JEC)は、1979年6月に発足しましたが、昨年(2009年)をもって満30周年を迎えました。これを記念し、昨秋の11月22日(日)に「JEC30周年記念大会」(第27回JEC尼崎大会)を開催いたしました。

また、上記の尼崎大会に合わせて、11月20日(金)～21日(土)には、「第9回アジア・太平洋NGO環境会議(APNEC9)」(京都会議)も成功裡に開催することができました。

日本環境会議(JEC)事務局では、この「JEC30周年」という大きな節目を記念する事業として、昨年より、以下のような取り組みを進めております。

①JEC会員拡大のキャンペーン事業：

現在、JEC会員数は約450名となっていますが、「JEC30周年」を機に、会員拡大に積極的に取り組み、ぜひとも、500名以上の会員数を達成したいと考えています。

②『日本環境会議30年の活動の歩み』(仮称)の編纂事業：

「JEC30周年」を記念して、1979年6月のJEC発足までの前史も含めて、30年以上にもわたるJECの歴史的な足跡とこの間の活動記録を1冊にとりまとめた記録資料集の編纂作業を進めています。また、これと合わせて、「JEC30周年記念大会」(第27回JEC尼崎大会)におけるJEC会員総会では、JEC30年の歩みの中で多大な貢献をさせていただいてきた方々を「JEC30周年功労者」として表彰いたしました。

③「公害研究史プロジェクト」の推進事業：

改めて述べるまでもなく、今日までのJECの諸活動は、日本における公害研究や環境研究を草分け的に切り拓いてこられた先人達の優れた研究業績によって導かれてきました。それらの研究業績を次世代へと引き継ぎ、さらに発展させていくために、若手メンバーを中心とした「公害研究史プロジェクト」を昨年3月から立ち上げていますが、今後も、このプロジェクトを継続的に推進していきたいと考えています。

④「JEC30周年記念募金」の推進事業：

日本環境会議の諸活動は、JEC会員の皆様方からの年会費の納入によって基本的に支

えられていますが、その会費収入のほとんどは、準機関誌として位置づけられている『環境と公害』誌の会員郵送サービスの諸経費、および、その他の事務経費等に充てられております。この間、JECの大会や一連の企画事業のための諸経費は、10年前にご協力いただいた「JEC20周年記念募金」による基金の取り崩し、および、その都度、各種の助成への申請や寄付金の確保など、様々な形での資金調達の努力によって、なんとか賄われてきました。今後、少なくとも10年以上の見通しをもって、JECとしての一連の諸活動を支えていくためには、改めて資金基盤の強化を図る必要があります。そのため、昨年、「JEC30周年」を記念した新たな募金活動を開始し、継続しております。

*JEC会員の皆様には、同封の「記念募金振込用紙」にて、ぜひ、一口：1万円（学生会員の場合は一口：5000円）の単位で積極的に募金をお寄せくださるよう、ここに、呼び掛けさせていただきます。

*複数口での募金はもちろん大歓迎です。

*募金をお寄せいただいた皆様には、その「受領書」の送付はもちろんですが、今回の「30周年記念募金」の活動が終了した時点で、「募金活動収支報告書」の送付の際に「募金者一覧」として、ご氏名を記載させていただくことにいたします。

以上、ぜひとも、皆様からの絶大なご支援・ご協力を賜りますよう、引き続き、よろしくお願ひ申し上げる次第です。

2010年7月

日本環境会議（JEC） / 「30周年記念事業委員会」 

同顧問：宮本憲一（JEC名誉理事長）

同顧問：柴田徳衛（JEC代表理事）

同顧問：原田正純（JEC代表理事）

同委員長：淡路剛久（JEC理事長）

同副委員長：永井 進（JEC副理事長）

同副委員長：磯野弥生（JEC副理事長）

同事務局長：寺西俊一（JEC事務局長）